

1. 実践研究テーマ

各教科等の学びを基礎・基本として、様々な情報を活用しながら、主体的に課題の発見・解決や社会的な価値の創造に結び付けていく生徒の育成

2. 取組の内容(協力校等との連携等を含む)

- 授業づくりの工夫による思考力・判断力・表現力等の育成・教科横断的に取り組む学習過程の工夫

すべての教科で、課題の設定→情報の収集→整理・分析→まとめ・表現という学習過程を意識し、課題解決に取り組む過程で思考力・判断力・表現力等を育成する。

- ・ 思考・判断・表現の視点の明確化

比較する、分類する、規則性を見つける等の視点を示した。

- ・ 課題設定の工夫

次のような課題設定となるように工夫する。

- ・ 持続可能な社会の在り方のような、実生活や自然や社会の諸問題につながる課題。
- ・ 他者との意見の対立や拮抗が起こり、様々な思いや考えを深められる課題。
- ・ 交流や再思考によって、解決策を検討・修正できる課題。

- ICTを活用した個別最適な学びと協働的な学びの充実【理科：酸・アルカリと塩の場合】

酸とアルカリを混ぜるとBTB溶液の色が変わった実験結果を踏まえ、中和が起こっている様子を、タブレットのイオンモデルを動かしながら考えさせた。その際、クラス全体の思考をモニターに映し、自分の考えと比較させた。

- 他教科や小学校の学習内容、体験活動とのつながり

例えば粒子概念の獲得では、既習の原子・分子モデルとの関連や、小学校での「水溶液の性質」、草花染め体験を想起させる等、つながりをもたせた。

総合的な学習の時間(人権) 公平な社会の実現のために～就職差別について考えよう～



比較する、分類する、規則性を見つける等を思考・判断・表現する際の視点とする



中和が起こる様子をイオンモデルを用いて説明する

3. 取組の成果

- 教職員の変容

単元的に展開し、学習者が主体的に取り組む、試行錯誤する必然性のある授業が工夫された。

【数学科：データの活用】ゆっくり落ちる紙飛行機を作ろう
【社会科(地理的分野)】

上勝町未来計画-100年先まで存続できる町にするには？

【理科：地球の大気と天気の変化】

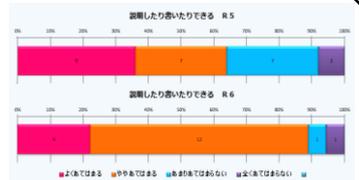
気象予報士になろう-〇月×日の天気は？

【技術・家庭科(家庭分野)：消費生活】

経済的な自立と自律-お金の正しい使い方と危険性について理解し、ふたつの「じりつ」を目指そう。

- 児童生徒の変容

授業において、自分の考えを人に説明したり、文章に書いたりすることが課題であったが、今年度は肯定的な回答をする生徒が増えた。「ICTが情報を集めたり、考えをまとめたり、表現したりすることに役立っている」と答えた生徒も88.9%おり、思考力、判断力、表現力を育成することに一定の成果があった。



4. 2年次に向けての取組予定

- 現代的な諸課題の解決につながるような課題設定の工夫
- 他校の生徒や外部講師、地域人材との意見交流を取り入れた、社会に開かれた教育課程の実現
- 学習者の学習改善を促すような指導の工夫